

男女共同参画に関する 稲城市民意識・実態調査を実施しました。

稲城市では、平成17年度末に予定しております「第3次女性行動計画」の策定に向けて、市民の皆さまのご意見やご要望を反映した計画にすることを念頭に置き、皆さまの「男女共同参画」についての意識と実態を把握して計画策定の基礎資料とすることを目的に、アンケート調査（3回目）を実施しました。

この冊子は、全部で37問あるアンケート調査の結果の中からとりわけ興味深いトピックを抜き出して作った、**調査結果報告書の抜粋版**です。

■ 調査のあらまし

実施地域	市全域 （*地区区分については、矢野口・東長沼・大丸・百村・坂浜・平尾・押立・向陽台・長峰・若葉台の10地区としました。）
対象	住民基本台帳上の満20歳以上の市民
送付者数	1,518人（女性727人、男性791人）
対象抽出方法	単純無作為抽出法（*地区・性別・年代ごとの人口比率を反映するよう、電算により抽出）
実施方法	郵送配付—郵送回収法
実施時期	平成15年7月上旬～末日

■ 回収結果

回収数	540票（うち3票が無効票〔白票〕）
有効回収率	35.4%（女性約43%、男性約27%）

●この冊子(表、グラフ)の見方●

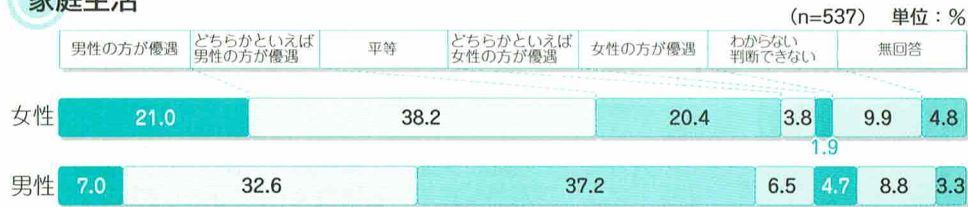
- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数(n)として、小数第2位を四捨五入して算出しています。なお、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超えます。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがあります。

男女の地位に関する平等意識は…?

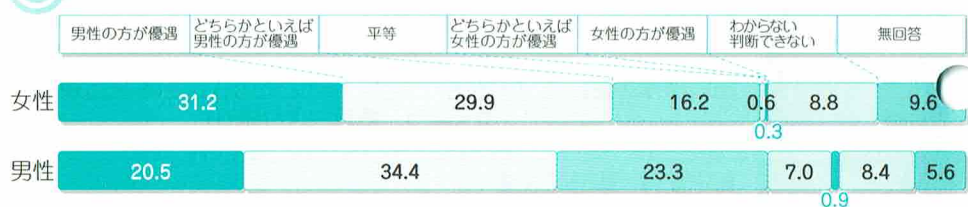
質問 次の各分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか？(それぞれについて答えは1つだけ)

「政治の場」や「職場」などの分野を中心に男性の方が優遇されがち、と感じている人が多いです。また、女性と男性とで意識に差が見られます。

家庭生活



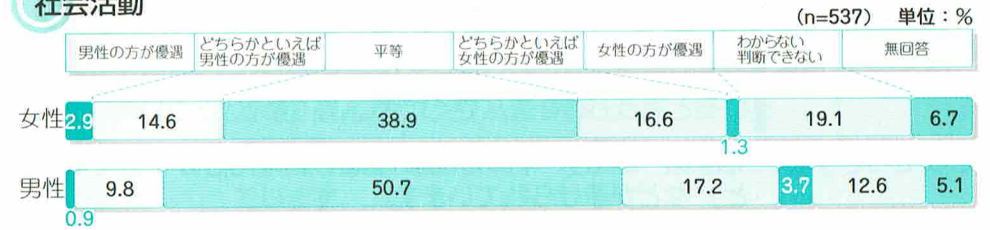
職場



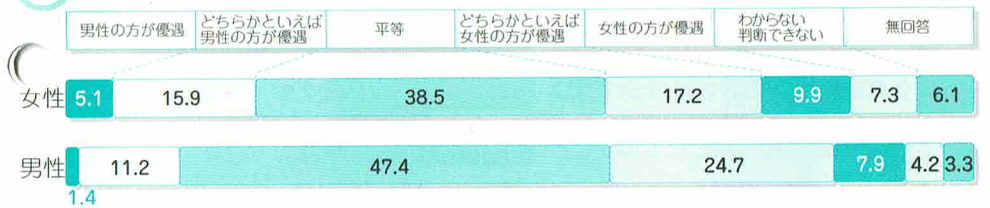
教育



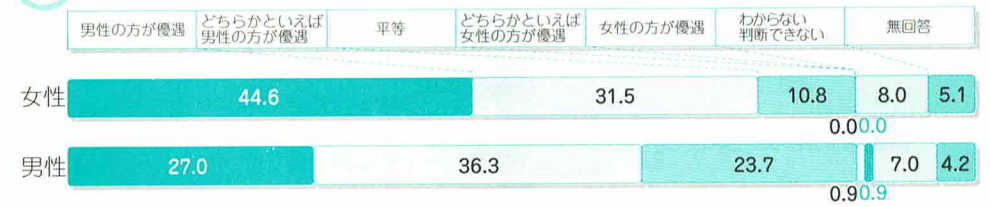
社会活動



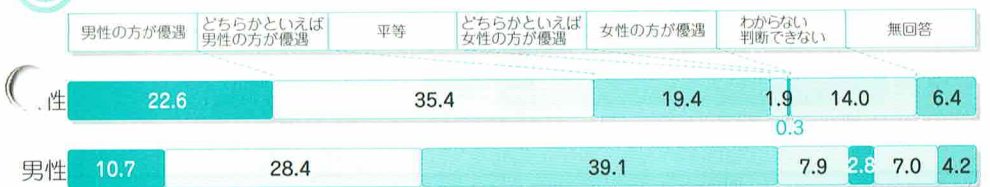
余暇生活



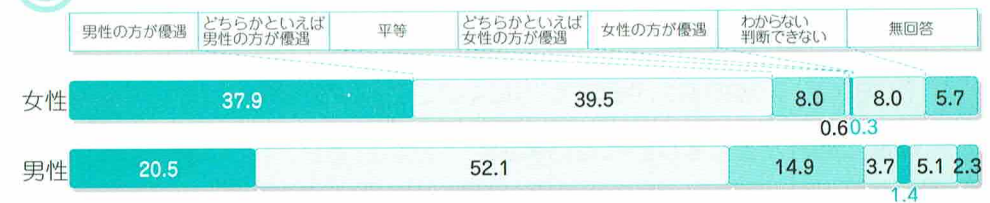
政治(の場)



法律や制度上



社会通念、慣習、しきたり



女性が職業を持つ上での障害はなに？

質問 女性が職業を持ったり続けていく上で特に大きな障害となっていると思うものを選んでください。(答えは2つ以内)

「家事・育児」、「保育施設の数や保育内容が十分でないこと」などが挙げられています。



- 「家事・育児」(57.2%)、
 - 「保育施設の数や保育内容が十分でないこと」(27.7%)、
 - 「(育児休業制度など)職場の労働条件が整っていないこと」(24.8%)、
 - 「(夫など)家族の協力や理解が得にくいこと」(22.0%)
- の順で回答が多く挙げられています。

市が実施している事業について知ってる？

質問 現在市が実施している下記事業のうちで、知っているものすべてを選んでください。(答えはいくつでも)

「子ども家庭支援センター」は、女性の30%ぐらいが知っています。

男女別結果表

単位：人(上段)／%(下段)

	全体	女と男の フォーラム	女性の 悩み相談	いなぎの 女性情報誌 「それいゆ」	ファミリー サポート センター	子ども 家庭支援 センター	無回答
合計	537 100.0	82 15.3	78 14.5	54 10.1	76 14.2	127 23.6	298 55.5
女性	314 100.0	58 18.5	55 17.5	34 10.8	53 16.9	93 29.6	153 48.7
男性	215 100.0	23 10.7	23 10.7	20 9.3	22 10.2	32 14.9	139 64.7

全体グラフ

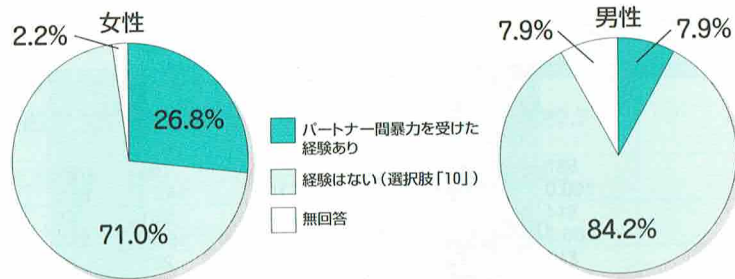


- 最もよく知られているのは「子ども家庭支援センター」で、全体で23.6%、女性ではほぼ3割の人に知られています。
- 次いでよく知られているのは「女と男のフォーラム」です(男性では「女性の悩み相談」も同数2位)。
- どの選択肢においても女性のポイントが男性のそれを上回っています。

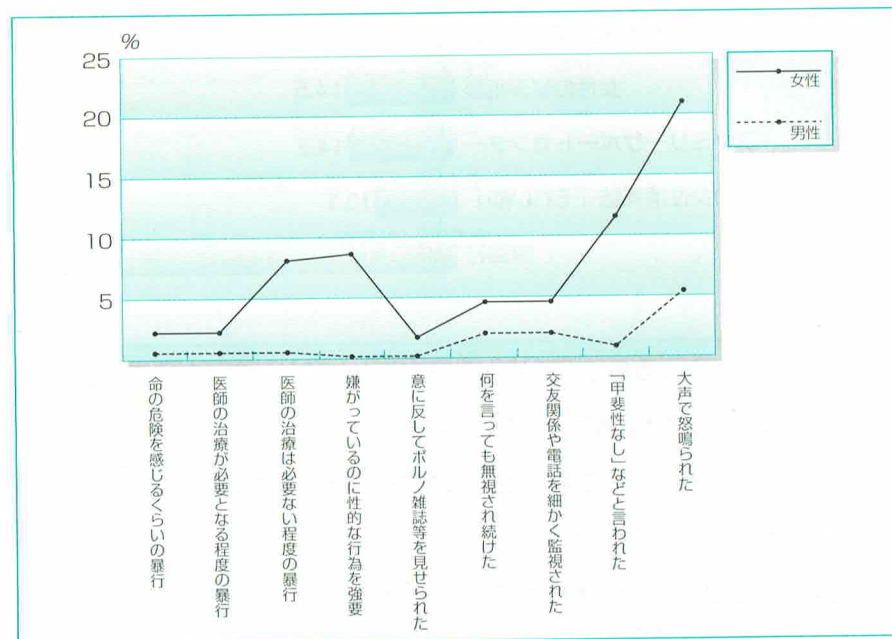
稲城でもパートナー間暴力があるの？

質問 あなたが次のような行為を配偶者やパートナーから受けた経験があれば、その番号をすべて選んでください。
(答えはいくつでも；経験がない場合は選択肢「10」を選ぶ)

女性の30%近くが、なんらかの形のパートナー間暴力を経験しています。



■女性の30%近くが、なんらかの形のパートナー間暴力を受けた経験があると回答しています。(女性では選択肢「10」を選んだ人が71.0%・無回答2.2%、男性では選択肢「10」84.2%・無回答7.9%。)



■パートナー間暴力の具体的な中身では…

●暴力を受けた経験がある人の中では「大声でどなられた」という回答が女性・男性ともにいちばん多く、女性ではそれに「『誰のおかげで生活できるんだ』、『甲斐性なし』などと言われた」、「嫌がっているのに性的な行為を強要された」、「医師の治療は必要でない程度の暴行を受けた」が続いています。

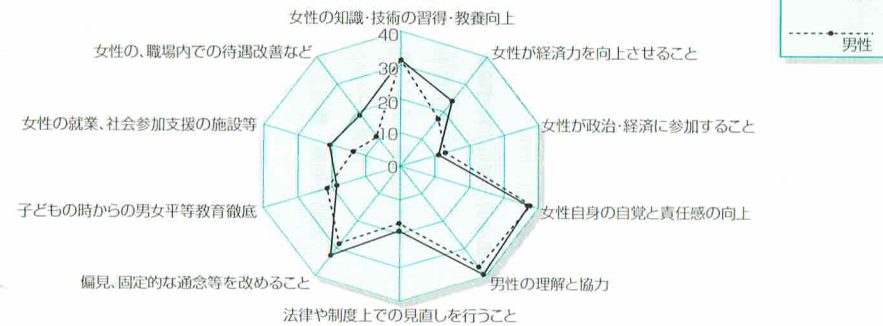
男女平等推進のために重要なことはなんだろう？

質問 男女があらゆる分野でもっと平等になるために重要と思うことを選んでください。(答えは3つ以内)

「女性自身の自覚と責任感の向上」や「男性の理解と協力」が多く挙げられています。

(n=537)

単位：%

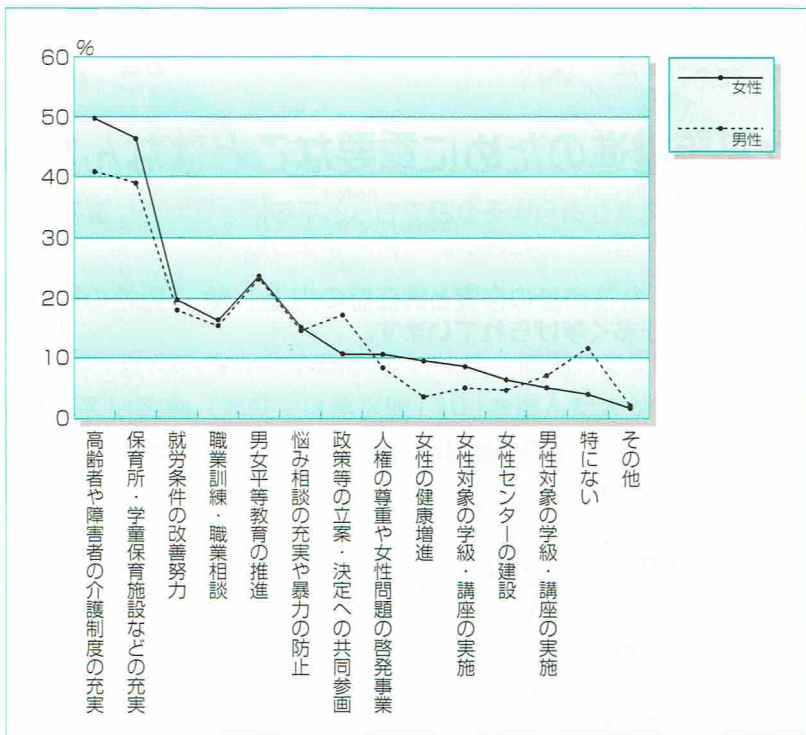


●女性では「男性の理解と協力」が第1位で、2番目が「女性自身の自覚と責任感の向上」であるのに対して、男性では1・2位の順序が入れ替わっています。お互いにまずは相手側の努力が大切と考える傾向があることがうかがえるものの、いずれにせよ「意識」や「自覚」が非常に重要と考えていることが分かりました。

市に特に力を入れてほしい施策は…？

(答えは3つ以内)

男女別結果グラフ



このパンフレットについてのお問い合わせは…

- ◆このパンフレット(男女共同参画に関する稲城市民意識・実態調査 調査結果報告書〈抜粋版〉)についてのお問い合わせ・ご意見などは、担当課(稲城市企画部協働推進課)までお寄せくださいますよう、よろしくお願いいたします。